

16

前章までの振り返り

- 31章で、エレミヤに示された「新しい契約」。
主がイスラエルを回復させ、
主に信頼するすべての者の心に、神の法を刻まれる。
- 32章。滅びが迫るエルサレム。監禁されたエレミヤに、
土地の買い戻しの権利の執行が求められた。
示されたのは、捕囚からの帰還の希望。

新しい契約を結び、民を帰還させるのが、来るべきメシア

17

平和の主による恵みの宣言

- ①裁きはある 1～5
- ②回復される 6～15
- ③契約のゆえに 16～24

まとめと適用

主による平和をこそ求めて



18



19

①裁きはある 主の御告げ エレ3:1~2

エレミヤがまだ監視の庭に閉じ込められていたとき、再びエレミヤに次のような【主】のことばがあった。

「地を造った【主】、それを形造って堅く立てた【主】、その名が【主】である方が言われる。

■破滅が近づくエルサレムで、
監禁されたエレミヤに、
主がなお告げられた。



20

①裁きはある 破滅が迫る都で 33:3~4

『わたしを呼べ*。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなること*を、あなたに告げよう。』

まことに、イスラエルの神である【主】は、敵の壘や剣に対抗するために取り壊された、この都の家々と、ユダの王たちの家々*について、こう言われる。

*聖書全体でも、ここだけの呼びかけ表現

*御告げの中心(6節以降)

*防衛のために美しかった都全体が要塞化



21

①裁きはある 避けがたい捕囚 33:5

『彼らはカルデア人*と戦おうとして出て行くが、わたしの怒りと憤りによって打ち殺された屍をその家々に満たす。それは、彼らのすべての悪のゆえに、わたしがこの都から顔を隠したからだ。』

*バビロニア帝国。民族的にはカルデア人。

■何度も繰り返されてきたとおり、
たび重ねてきた罪に対する主の裁きとして、
エルサレムは、バビロニアによって壊滅。

→確定した裁きは執行を待つだけの状態



22

①裁きはある

■監禁されていたエレミヤへの再度の御告げ。

■まず明確に告げられるのは、
神の怒りによる、イスラエルへの裁き。

「不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、**神の怒り**が天から啓示されている」

ローマ1:18

23



24

②回復される 回復の宣言 33:6～8

見よ。わたしはこの都に回復と癒やしを与え、彼らを癒やす。そして彼らに平安と真実を豊かに示す。

わたしはユダとイスラエルを回復させ、以前のように彼らを建て直す。

わたしは、彼らがわたしに犯したすべての咎から彼らをきよめ、彼らがわたしに犯し、わたしに背いたすべての咎を赦す。

■ 様々な表現で告げられるイスラエルの回復。罪の赦し。きよめ。平安。



25

②回復される 全地に響く祝福 33:9

この都は、地のすべての国々の間で、わたしにとって喜びの名となり、栄誉となり、栄えとなる。彼らは、わたしがこの民に与えるすべての祝福のことを聞き、わたしがこの都に与えるすべての祝福と平安のゆえに恐れ、震えることになる。』」

■ 様々な表現で告げられるイスラエルの祝福
■ 人々がおそれるのは、祝福の背後におられる全知全能の唯一の神



26

②回復される 歓喜の賛美 33:10～11

【主】はこう言われる。「あなたがたが、人も家畜もない廃墟と言うこの場所で、人も住民も家畜もない、荒れすたれたユダの町々とエルサレムの通りで、楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声、【主】の宮に感謝のいけにえを携えて来る人たちの声が、再び聞かれるようになる。

■ 様々な表現で告げられるイスラエルの喜び
➔ 人々の最大の喜びは主への礼拝
(千年王国での神殿での礼拝の様子)



27

②回復される 新しい歌 33:11

彼らは言う。『万軍の【主】に感謝せよ。
【主】はまことにいつくしみ深い。その恵み
はとこしえまで*』と。わたしがこの地を回復
させ、以前のようにするからだ——【主】は
言われる。』

*千年王国でうたわれる主への賛美

■ 回復された地で、
すべてのイスラエルは主を賛美する



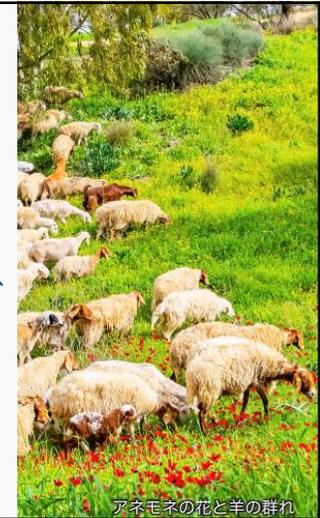
28

②回復される 豊かな羊飼い 33:12~13

万軍の【主】はこう言われる。「人も家畜も
いない廃墟であるこの場所と、そのすべての
町に、群れを伏させる羊飼いたちの住まいが
再びできる。

山地の町々でも、シェフェラの町々、ネゲブ
の町々、ベニヤミンの地、エルサレムの近郊、
ユダの町々でも、群れが再び、数を数える者
の手の下を通り過ぎる——【主】は言われる」

■ 回復された豊かな地で、
多くの羊が飼われる。



29

②回復される メシア預言 33:14~16

「見よ、その時代が来る——【主】のことば——。
そのとき、わたしはイスラエルの家とユダの
家に語ったいつくしみの約束を果たす。

その日、その時、わたしはダビデのために**義
の若枝**を芽生えさせる。彼はこの地に公正と
義を行う。

その日、ユダは救われ、エルサレムは安らかに
住み、こうしてこの都は『【主】は私た
ちの義』と名づけられる。』

■ 神の義の最たるものが、主の約束。
義なるメシアが、王国を公正に統治される。



30

②回復される 永遠の王と祭司 33:17~18

まことに【主】はこう言われる。「**ダビデ**に
は、イスラエルの家の王座に就く者が断たれ
ることはない。

また、**レビ人の祭司**たちには、わたしの前で
全焼のささげ物を献げ、穀物のささげ物を焼
いて煙にし、いけにえを献げる者が、いつま
でも絶えることはない。』

■ イスラエルは、王として、祭司として、
主イエスと共に、王国を永遠に統治する。



31

②回復される

- 不意に告げられる、イスラエルの回復。
- 全イスラエルは、帰還し、祝福され、
歓喜の叫びを上げ、主を賛美し、礼拝する。

メシアによって、イスラエルは回復される

32



③契約のゆえに

エレミヤ書33章19～26節

雨期のイスラエル

33

③契約のゆえに 不動の契約 33:19～21

エレミヤに次のような【主】のことばがあった。

【主】はこう言われる。「もしもあなたがたが、
昼と結んだわたしの契約と、夜と結んだわたしの
契約を破ることができ、昼と夜が、定まった
時に来ないようにすることができるのであれば、

わたしのしもべダビデと結んだわたしの契約も
破られ、ダビデにはその王座に就く子がいなくな
り、わたしに仕えるレビ人の祭司たちと結ん
だわたしの契約も破られる。

- 世界もイスラエルも、神の契約で造られた。
決して破られることのない神の契約によって。



雨期のイスラエル

34

③契約のゆえに 繁栄の約束 33:22

天の万象は数えきれず、海の砂は量れない。
そのようにわたしは、わたしのしもべダビデ
の子孫と、わたしに仕えるレビ人を増やす」

- 主はアブラハムの子孫、イスラエルが、
空の星、海の砂のように、
数え切れないほど増えると約束された。



荒野の星空

35

③ 契約のゆえに カルデア人の嘲笑 33:23~24

エレミヤに次のような【主】のことばがあった。

「あなたは**この民**が、『【主】は自分で選んだ二つの部族を退けた』と話しているのを知らないのか。**彼ら**はわたしの民を侮っている。『自分たちの目には、もはや一つの国民ではないのだ』と。」

■ **バビロニア**は、イスラエル、ユダを嘲る。
神に見捨てられ、国の体もなしていないと…。



イスラエルのシクラメン

36

③ 契約のゆえに 永遠の契約 33:25~26

【主】はこう言われる。「もしも、わたしが昼と夜と契約を結ばず、天と地の諸法則をわたしが定めなかったのであれば、わたしは、ヤコブの子孫とわたしのしもべダビデの子孫を退け、その子孫の中から、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫を治める者を選ぶということはない。しかし、わたしは彼らを回復させ、彼らをあわれむ。」

■ 主の恵みの契約ゆえ、イスラエルは、決して見捨てられず、必ず回復される。



雨期のイスラエル

37

③ 契約のゆえに

- 不意に告げられる、イスラエルの回復。
- 全イスラエルは、帰還し、祝福され、歓喜の叫びを上げ、主を賛美し、礼拝する。

約束されたメシアが、すべてを成し遂げられる

38



まとめと適用 主による平和をこそ求めて

雨期のイスラエル

39

まとめ	メシアによる平和の原則
①裁きはある	…罪人に神の怒りが注ぐ、裁きの時が!!
②回復される	…裁きを経て、イスラエルと世界は回復。 (信仰者は、最後の大難難を免れる)
③契約のゆえに	…救いに必要なのが、神の契約 最重要は、メシアによる 新しい契約
約束されたメシアが永遠の回復をもたらされる	

40

まとめ	メシアによる救いの原則
■	神の怒りを、十字架で主イエスが飲み干された。 「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何を しているのかが分かっていないのです。ルカ 23:34」
■	主イエスは、死を打ち破って復活された。 「あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神は イエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、 あなたは救われる。ロマ 10:9」
十字架の死と復活の福音を信じて救われる	

41

まとめ	信仰が崩れていく時
①神の裁きを否定	…義の否定。愛の強調。万人救済説。 →しかし、人の罪の現実が!! →神によらず、自分で裁く!!
②神による回復を否定	…復活も否認。 →人による救いが強調!!
③神の契約を否定	…生まれるわけがない救いの確信。 →行いによる救い。平安がない!!
私たち誰もが陥る不信仰の罠がある!!	

42

適用	信仰なき「平和活動」の末路
①神の裁きを否定	…現実にある罪に向き合えない →敵を設定。責め、裁く (基地推進派、無関心な人々)
②神による回復を否定	…人間的な努力を強調 →自分や他者に犠牲を求める (自分の理想とする平和活動へ)
③神の契約を否定	…ゴールがない。手段が目的化。 →再現なく膨らむ責務 (自分や他者への抑圧、破滅)

43

適用	辺野古沖転覆事故をもたらしたもの
①人による裁き	…命より重視されたのは、活動の大義 →自分の活動の成果を誇って?!
②人による回復	…自分と他者に強いた犠牲。荒れる海へ →「平和活動」が犠牲を求める偶像に!!
③人による針路	…人には変えられない、人の罪の現実 「平和活動」への犠牲の求めは際限なく →行きつく先は、自己、他者の破滅
善悪を自分で判断する 人の罪、不信仰の結果	

44

適用	私自身の悔い改めから
■	福音を信じる信仰への回心。高まった軋轢 「キリストしか救いがない？」向けられた非難は刈り取り。
■	自腹で陪席した、離脱前の最後の教区総会。 「平和活動」の欺瞞を指摘。反論の機会なく審議打ち切り。
■	悔い改めなく、誤った道を歩み続けていたなら、 金井牧師は私自身の姿であったかもしれない。

45

適用	憐れみの主の御手に託して
■	悔やみきれないのは、一人の高校生と、一人の牧師の命。
■	最後の希望は、一方的な恵みの憐れみの主、 最期の刹那にも、働きかけられる永遠の神に託すこと。
■	日本基督教団に、牧師たちに問われる逃れられない責任。 人には担いようのない重荷に粉々に打ち砕かれ、 悔い改めて立ち返り、地上で刈り取りができるように。

46

★ 主による平和をこそ求めて ★	
■	神の怒りが注がれる、主の裁きの時は来る。 主の恵みに生かされているうちに、主に悔い改めよう!!
■	信じてもなお犯す罪から、立ち返ろう。 自分を守るな、ごまかすな。 打ち砕かれ、悔いる心を主は侮られない。 主が、憐れみの御手で抱き止めてくださる。
永遠の平和に至る主イエスの道を歩み続けて行こう	

47

てん どう わたし つみ
 「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ みこ しゅ
 私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
 ①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
 ②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
 ③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし いか しゅ わたし みが の ほ
 神の怒りを、主イエスが私たちの身代わりに飲み干されました。

さば しゅ わたし まぬ
 やがてくる裁きから、主が私たちを免れさせていただきます。

おか つみ く あらた う くだ あゆ もの
 なおも犯す罪を悔い改め、打ち砕かれつつ歩む者としてください。

すく ふくいん かか へいわ しゅ しょうにん つか
 救いの福音を掲げる平和の主イエスの証人として遣わしてください。

しゅ な いの
 主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」